

- 問1 室町時代に、団結した農民たちが、重い年貢などに反対して起こした反乱のことを何といいますか。
- 問2 室町時代に活躍した人物で、中国から帰国した後に、墨の濃淡だけで風景や生き物を表現する「水墨画」を日本独自のものとして完成させた人はだれでしょう。
- 問3 鎌倉時代に登場した「新しい仏教」が、武士や農民の間に広く受け入れられたのはなぜですか。
- 問4 中世の時代に、各地で「定期市」が作られるようになったきっかけは何ですか。
- 問5 朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いで、幕府側の御家人たちが朝廷の軍を打ち破ったできごとは何ですか。
- 問6 室町時代に生まれた文化のうち、能の合間に演じられた、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇を何といいますか。
- 問7 吉田兼好が書いた「徒然草」は、何時代に書かれた随筆ですか。
- 問8 3代将軍の足利義満が金閣を建てたのは、京都のどこですか。
- 問9 3代将軍の足利義満が、京都の北山に建てた建物は何ですか。
- 問10 源義経が率いる源氏の軍が、平氏を追いつめてほろぼした山口県にある場所はどこですか。
- 問11 源頼朝の弟で、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、壇ノ浦でほろぼした人物はだれですか。
- 問12 源頼朝の妻で、頼朝が亡くなったあとに、朝廷が幕府をたおそうとしておこした承久の乱のときに、御家人たちを団結させた人物はだれですか。
- 問13 元（げん）が2回目の来襲（らいしゅう）をしてくることにそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた、守りのための石の壁を何といいますか。
- 問14 源頼朝が1192年に朝廷から任命され、鎌倉幕府を開くことになった役職は何ですか。
- 問15 室町幕府の3代将軍である足利義満が、明（中国）との間で行って大きな利益を得た貿易を何といいますか。
- 問16 朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いにおいて、幕府側の御家人たちが団結して朝廷の軍を打ち破るきっかけとなった、うったえをおこなった人物はだれですか。
- 問17 源頼朝が国ごとに置いた役職で、御家人の取りしまりや軍事、警察などを行ったものは何ですか。
- 問18 8代将軍の足利義政のときにおこった「応仁の乱」は、その後の社会にどのような影響を与えましたか。
- 問19 将軍と御家人は、どのような関係で強く結びついていましたか。
- 問20 一向一揆は、どのような人たちが団結して起こした一揆ですか。
- 問21 源頼朝が荘園などの私有地に置き、税の取り立てや荘園の取りしまりなどを行った役職は何ですか。
- 問22 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をおこなうときの基準として定められた法律ですか。
- 問23 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 土一揆	団結した農民たちが、重い年貢などに反対して起こした反乱を土一揆といいます。
問2	答え 雪舟	雪舟は室町時代の僧であり、高い技術を持って中国から日本へ帰り、日本らしい独自の画風で水墨画を完成させました。墨の色の濃い・薄いを使い分けて風景などを描き出すその技法は、その後の日本の芸術に大きな影響をあたえました。
問3	答え わかりやすい教えを持っていたから。	新しい仏教は、だれでも実行できるわかりやすい教えを持っていたため、武士や農民の間に急速に広がりました。
問4	答え 商業が盛んになったこと	定期市は、商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場です。
問5	答え 承久の乱	朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いで、幕府側の御家人たちが朝廷の軍を打ち破ったできごとを承久の乱といいます。
問6	答え 狂言	能の合間に演じられ、庶民の生活をユーモラス（おもしろおかしく）に描いた劇を狂言といいます。
問7	答え 鎌倉時代	徒然草は、吉田兼好（兼好法師）によって鎌倉時代に書かれた随筆です。
問8	答え 北山	足利義満は、京都の北山という場所に金閣を建てました。
問9	答え 金閣	3代将軍の足利義満が京都の北山に建てた建物は、金閣です。
問10	答え 壇ノ浦	壇ノ浦は、源義経が率いる源氏の軍が平氏を追いつめてほろぼした、山口県にある場所です。
問11	答え 源義経	源義経は源頼朝の弟であり、源氏の軍を率いて平氏を壇ノ浦でほろぼした人物です。
問12	答え 北条政子	北条政子は源頼朝の妻で、頼朝の死後に幕府の危機を乗り越えるため、御家人たちを団結させた人物です。
問13	答え 防塁	元の2回目の来襲にそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた守りのための石の壁（石塁）を防塁といいます。
問14	答え 征夷大將軍	源頼朝は、1192年に朝廷から征夷大將軍に任命されたことで、鎌倉幕府を開きました。
問15	答え 勘合貿易	3代将軍の足利義満が明（中国）との間で行った貿易を「勘合貿易」といいます。
問16	答え 北条政子	承久の乱では、北条政子のうったえによって幕府側の御家人たちが団結し、朝廷の軍を打ち破りました。
問17	答え 守護	源頼朝が国ごとに置いた、御家人の取りしまりや軍事・警察などを行う役職を守護といいます。
問18	答え この乱をきっかけに、戦国時代へと移り変わりました。	応仁の乱によって幕府の力が衰え、世の中は戦国時代へと移り変わっていきました。
問19	答え 「ご恩」と「奉公」の関係	将軍と御家人は、「ご恩」と「奉公」という関係で強く結びついていました。
問20	答え 浄土真宗（一向宗）の信者たち	一向一揆は、浄土真宗（一向宗）の信者たちが団結して起こした一揆です。
問21	答え 地頭	源頼朝が荘園などの私有地に置いた、税の取り立てや荘園の取りしまりを行う役職を地頭といいます。
問22	答え 武士の裁判	御成敗式目は、武士の裁判を正しくおこなうための基準としてつくられた法律です。

問23 答え
鎌倉幕府

源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権を鎌倉幕府といいます。

- 問1 室町幕府の3代将軍で、中国の明（みん）との貿易を行い、京都の北山に金閣を建てた人物はだれですか。
- 問2 書院造の具体的な特徴として、ふすまや障子、畳などが使われていることがあげられますが、これは現代の何のもとになったものですか。
- 問3 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。
- 問4 室町文化において、茶の湯や生け花が単なる楽しみ以外に大切にされていたのはなぜですか。
- 問5 鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻である金剛力士像は、どこのお寺の南大門にありますか。
- 問6 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。
- 問7 源頼朝が置いた「地頭」は、どのような場所に置かれましたか。
- 問8 14世紀に、足利尊氏（あしかがたかうじ）が京都に開いた幕府を何といいますか。
- 問9 室町時代から戦国時代にかけて見られた、実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことを何といいますか。
- 問10 北条時宗が元軍との戦いに備えて、守りを固めるために武士たちに築かせたものは何ですか。
- 問11 鎌倉時代に始まった二毛作は、主に日本のどの地域で行われましたか。
- 問12 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。
- 問13 鎌倉時代に、吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は何ですか。
- 問14 源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がたおれるまでの約140年間のことを何といいますか。
- 問15 室町時代に始まった「狂言」とは、どのような劇ですか。
- 問16 源平の戦いのようすを描いた、中世に作られた有名な物語は何ですか。
- 問17 浄土真宗（一向宗）の信者たちが、みんなで団結して起こした一揆のことを何といいますか。
- 問18 足利義政が将軍だったころ、京都で大きな戦乱が起こり、町が荒れてしまいました。この戦乱を何といいますか。
- 問19 源頼朝が国ごとに置いた役職で、御家人の取りしまりや軍事、警察などを行ったものは何ですか。
- 問20 1274年と1281年の2度にわたって、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を何といいますか。
- 問21 源頼朝の弟で、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、壇ノ浦でほろぼした人物はだれですか。
- 問22 中世の時代に、各地で「定期市」が作られるようになったきっかけは何ですか。
- 問23 3代将軍の足利義満が、明（中国）との間で勘合貿易を行った主な目的は何ですか。
- 問24 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をとおこなうときの基準として定められた法律ですか。
- 問25 平家物語は、どのような人たちによって人々に語り伝えられましたか。
- 問26 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何かですか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 足利義満	足利義満は室町幕府の全盛期を支えた将軍です。対外貿易による利益を活用し、北山文化を代表する建築物である金閣を建てました。ちなみに、銀閣を建てたのは8代将軍の足利義政です。混同しないように注意しましょう。
問2	答え 和室	書院造は、ふすまや障子、畳などが使われており、現代の和室のもとになった建築様式です。
問3	答え 新しい仏教	鎌倉時代には、それまでの難しい仏教とは異なり、武士や農民にも理解しやすい「新しい仏教」が広まりました。
問4	答え 精神をきたえるためや、人との交流の場として大切だったから	当時の武士や貴族にとって、静かに茶を点てたり花を生けたりすることは、自分の心を見つめ直す精神修養（精神をきたえること）や、大切な客人を招いてお互いの心を通わせる大切な交流の手段でした。
問5	答え 東大寺	金剛力士像は、奈良県にある東大寺の南大門に置かれており、鎌倉時代の力強い文化の特徴を表しています。
問6	答え 鎌倉幕府	源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権を鎌倉幕府といいます。
問7	答え 荘園などの私有地	地頭は、源頼朝によって荘園などの私有地に置かれ、税の取り立てや取りしまりを行いました。
問8	答え 室町幕府	足利氏によって京都に開かれた政権は室町幕府と呼ばれます。源頼朝が作った鎌倉幕府や、徳川家康が作った江戸幕府とは、開かれた場所や時代が異なります。
問9	答え 下剋上	実力のある者が上の身分の者に取って代わる動きや風潮を「下剋上」といいます。
問10	答え 防塁	北条時宗は、元軍の攻撃から守りを固めるために、武士たちに防塁を築かせました。
問11	答え 西日本	二毛作は、鎌倉時代に西日本で行われた農業の方法です。
問12	答え 実力のある者が、上の身分の者に取って代わる動き	下剋上は、身分が下であっても実力がある者が、上の身分の者に取って代わる動きや風潮のことです。
問13	答え 徒然草	鎌倉時代に吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は「徒然草」です。
問14	答え 鎌倉時代	源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がたおれるまでの約140年間のことを鎌倉時代といいます。
問15	答え 能の合間に演じられ、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇	狂言は、能の合間に演じられた劇で、庶民の日常の様子などをユーモラスに表現したのが特徴です。
問16	答え 平家物語	源平の戦いのようすを描いた物語は「平家物語」です。びわ法師によって語り伝えられました。
問17	答え 一向一揆	浄土真宗（一向宗）の信者たちが団結して起こした一揆を一向一揆といいます。
問18	答え 応仁の乱	足利義政の時代に、後の将軍の座や有力な大名の家督相続をめぐる、京都を中心に「応仁の乱」という長期間の戦いが起きました。この戦いにより京都の町は大きく荒れてしまい、室町幕府の力も弱まっていきました。
問19	答え 守護	源頼朝が国ごとに置いた、御家人の取りしまりや軍事・警察などを行う役職を守護といいます。
問20	答え 元寇	1274年と1281年の2度にわたり、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を「元寇」と呼びます。
問21	答え 源義経	源義経は源頼朝の弟であり、源氏の軍を率いて平氏を壇ノ浦でほろぼした人物です。

問22	答え 商業が盛んになったこと	定期市は、商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場です。
問23	答え 貿易によって利益を得るため	足利義満は、明（中国）との間で勘合貿易を行うことで、大きな利益を得ました。
問24	答え 武士の裁判	御成敗式目は、武士の裁判を正しくおこなうための基準としてつくられた法律です。
問25	答え びわ法師	平家物語は、びわ法師と呼ばれる人たちによって、語り伝えられました。
問26	答え 金剛力士像	東大寺南大門にある金剛力士像は、鎌倉時代の力強く生き生きとした文化を代表する有名な彫刻です。

- 問1 元（げん）が2回目の来襲（らいしゅう）をしてくることにそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた、守りのための石の壁を何といいますか。
- 問2 3代将軍の足利義満が、京都の北山に建てた建物は何ですか。
- 問3 鎌倉時代に、将軍の家来となった武士のことを何と呼びますか。
- 問4 鎌倉時代に、将軍を補佐して政治を行うために置かれた役職は何ですか。
- 問5 室町文化において、茶の湯や生け花が単なる楽しみ以外に大切にされていたのはなぜですか。
- 問6 北条時宗が元軍との戦いに備えて、守りを固めるために武士たちに築かせたものは何ですか。
- 問7 室町幕府の将軍たちが、政治だけでなく寺院の建立や文化の保護に力を入れたことで、どのような影響がありましたか。
- 問8 足利義満が中国の明との貿易を始めた大きな目的は何だと考えられますか。
- 問9 朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いにおいて、幕府側の御家人たちが団結して朝廷の軍を打ち破るきっかけとなった、うったえをおこなった人物はだれですか。
- 問10 室町時代に雪舟によって大成された、墨の濃淡で描かれた絵画を何といいますか。
- 問11 室町幕府の3代将軍で、中国の明（みん）との貿易を行い、京都の北山に金閣を建てた人物はだれですか。
- 問12 一向一揆は、どのような人たちが団結して起こした一揆ですか。
- 問13 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何ですか。
- 問14 鎌倉時代に西日本で始まった、稲を刈り取ったあとの田畑で麦などをつくる農業の方法を何といいますか。
- 問15 平氏をたおすために兵をあげ、1192年に征夷大将軍に任命されて鎌倉幕府を開いた人物はだれですか。
- 問16 日本に攻めてきた「元」は、もともとどこの地域の一部の人々が中国を支配してつくった国ですか。
- 問17 1274年と1281年の2度にわたって、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を何といいますか。
- 問18 室町時代に、父と子で協力して「能（のう）」という芸能を芸術として完成させた二人の人物はだれでしょう。
- 問19 鎌倉時代に登場した「新しい仏教」が、武士や農民の間に広く受け入れられたのはなぜですか。
- 問20 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。
- 問21 室町時代に生まれた文化のうち、能の合間に演じられた、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇を何といいますか。
- 問22 室町時代に大成された伝統芸能である「能」は、劇の中でどのようなものを用いて演じる特徴がありますか。
- 問23 商業が盛んになるにつれて、各地で決まった日に開かれるようになった市場を何といいますか。
- 問24 13世紀に中国を支配し、日本も支配しようとして攻めてきた国はどこですか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 防塁	元の2回目の来襲にそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた守りのための石の壁（石塁）を防塁といいます。
問2	答え 金閣	3代将軍の足利義満が京都の北山に建てた建物は、金閣です。
問3	答え 御家人	将軍の家来となった武士のことを御家人と呼びます。
問4	答え 執権	将軍を補佐して政治を行う役職を執権といいます。
問5	答え 精神をきたえるためや、人との交流の場として大切だったから	当時の武士や貴族にとって、静かに茶を点てたり花を生けたりすることは、自分の心を見つめ直す精神修養（精神をきたえること）や、大切な客人を招いてお互いの心を通わせる大切な交流の手段でした。
問6	答え 防塁	北条時宗は、元軍の攻撃から守りを固めるために、武士たちに防塁を築かせました。
問7	答え 独自の武家文化や新しい芸術が発展した	室町時代には、将軍が政治を行う一方で、文化や芸術を大切にしました。そのため、この時代には日本独自の武家文化が生まれ、華やかな芸術が大きく発展することとなりました。
問8	答え 貿易によって利益を得て幕府の力を強めるため	足利義満は、貿易で得た富を使って幕府の権威を高めようとしてしました。金閣のような豪華な建物を造ることができたのも、この貿易で多くの利益を得ていたことが大きな理由の一つです。
問9	答え 北条政子	承久の乱では、北条政子のうったえによって幕府側の御家人たちが団結し、朝廷の軍を打ち破りました。
問10	答え 水墨画	室町時代に雪舟によって大成された、墨の濃淡で描かれた絵画を水墨画といいます。
問11	答え 足利義満	足利義満は室町幕府の全盛期を支えた将軍です。対外貿易による利益を活用し、北山文化を代表する建築物である金閣を建てました。ちなみに、銀閣を建てたのは8代将軍の足利義政ですので、混同しないように注意しましょう。
問12	答え 浄土真宗（一向宗）の信者たち	一向一揆は、浄土真宗（一向宗）の信者たちが団結して起こした一揆です。
問13	答え 金剛力士像	東大寺南大門にある金剛力士像は、鎌倉時代の力強く生き生きとした文化を代表する有名な彫刻です。
問14	答え 二毛作	稲を刈り取ったあとの田畑で麦などをつくる農業の方法を二毛作といいます。
問15	答え 源頼朝	源頼朝は、平氏をたおすために立ち上がり、1192年に征夷大将軍となって鎌倉幕府を開きました。
問16	答え モンゴル	元は、モンゴルの一部の国が中国を支配してつくった国で、日本にも攻めてきました。
問17	答え 元寇	1274年と1281年の2度にわたり、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を「元寇」と呼びます。
問18	答え 観阿弥と世阿弥	二人は室町時代に活躍した親子です。それまで各地で行われていた芸能をまとめ上げ、物語性や芸術性の高い「能」という形に仕上げました。この能は、当時の武士や貴族たちにも深く愛され、今日まで続く日本の伝統芸能として根付きました。
問19	答え わかりやすい教えを持っていたから。	新しい仏教は、だれでも実行できるわかりやすい教えを持っていたため、武士や農民の間に急速に広がりました。
問20	答え 鎌倉幕府	源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権を鎌倉幕府といいます。
問21	答え 狂言	能の合間に演じられ、庶民の生活をユーモラス（おもしろおかしく）に描いた劇を狂言といいます。
問22	答え 仮面	能は、顔に「仮面」をつけて演じることが大きな特徴である伝統芸能です。

問23	答え 定期市	商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場を定期市といいます。
問24	答え 元	13世紀に中国を支配したモンゴルの一部の国で、日本を支配しようと攻めてきた国は「元」です。

- 問1 室町時代に活躍した人物で、中国から帰国した後に、墨の濃淡だけで風景や生き物を表現する「水墨画」を日本独自のものとして完成させた人はだれでしょう。
- 問2 13世紀に中国を支配し、日本も支配しようとして攻めてきた国はどこですか。
- 問3 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。
- 問4 室町時代に、団結した農民たちが、重い年貢などに反対して起こした反乱のことを何といいますか。
- 問5 鎌倉時代に始まった二毛作は、主に日本のどの地域で行われましたか。
- 問6 1467年に京都で始まり、有力な大名たちが11年もの間、争い続けた戦いを何といいますか。
- 問7 足利義政が將軍だったころ、京都で大きな戦乱が起こり、町が荒れてしまいました。この戦乱を何といいますか。
- 問8 鎌倉時代に、吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は何ですか。
- 問9 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。
- 問10 3代將軍の足利義満が、明（中国）との間で勘合貿易を行った主な目的は何ですか。
- 問11 日本に攻めてきた「元」は、もともとどの地域の一部の人々が中国を支配してつくった国ですか。
- 問12 平氏をたおすために兵をあげ、1192年に征夷大將軍に任命されて鎌倉幕府を開いた人物はだれですか。
- 問13 室町幕府の3代將軍で、中国の明（みん）との貿易を行い、京都の北山に金閣を建てた人物はだれですか。
- 問14 室町時代に雪舟によって大成された、墨の濃淡で描かれた絵画を何といいますか。
- 問15 室町時代に観阿弥・世阿弥の父子によって大成された、仮面などを用いて演じる伝統芸能は何ですか。
- 問16 室町幕府の8代將軍で、京都の東山に「銀閣」を建て、独自の文化を広めた人物はだれでしょう。
- 問17 一向一揆は、どのような人たちが団結して起こした一揆ですか。
- 問18 銀閣の敷地内にある東求堂に見られる、ふすまや障子、畳などが使われた、現代の和室のもとになった建築様式を何といいますか。
- 問19 平家物語は、どのような人たちによって人々に語り伝えられましたか。
- 問20 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何かですか。
- 問21 將軍と御家人は、どのような関係で強く結びついていましたか。
- 問22 鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻である金剛力士像は、どこのお寺の南大門にありますか。
- 問23 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。
- 問24 守護大名とは、どのような幕府の時代に、どのような人が大きな力を持つようになったものですか。
- 問25 室町幕府の3代將軍である足利義満が、明（中国）との間で行って大きな利益を得た貿易を何といいますか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 雪舟	雪舟は室町時代の僧であり、高い技術を持って中国から日本へ帰り、日本らしい独自の画風で水墨画を完成させました。墨の色の濃い・薄いを使い分けて風景などを描き出すその技法は、その後の日本の芸術に大きな影響をあたえました。
問2	答え 元	13世紀に中国を支配したモンゴルの一部の国で、日本を支配しようと攻めてきた国は「元」です。
問3	答え 鎌倉幕府	源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権を鎌倉幕府といいます。
問4	答え 土一揆	団結した農民たちが、重い年貢などに反対して起こした反乱を土一揆といいます。
問5	答え 西日本	二毛作は、鎌倉時代に西日本で行われた農業の方法です。
問6	答え 応仁の乱	1467年に京都で起こり、11年間も続いた有力大名どうしの争いを応仁の乱といいます。
問7	答え 応仁の乱	足利義政の時代に、後の将軍の座や有力な大名の家督相続をめぐる、京都を中心に「応仁の乱」という長期間の戦いが起きました。この戦いにより京都の町は大きく荒れてしまい、室町幕府の力も弱まってきました。
問8	答え 徒然草	鎌倉時代に吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は「徒然草」です。
問9	答え 新しい仏教	鎌倉時代には、それまでの難しい仏教とは異なり、武士や農民にも理解しやすい「新しい仏教」が広まりました。
問10	答え 貿易によって利益を得るため	足利義満は、明（中国）との間で勘合貿易を行うことで、大きな利益を得ました。
問11	答え モンゴル	元は、モンゴルの一部の国が中国を支配してつくった国で、日本にも攻めてきました。
問12	答え 源頼朝	源頼朝は、平氏をたおすために立ち上がり、1192年に征夷大将軍となって鎌倉幕府を開きました。
問13	答え 足利義満	足利義満は室町幕府の全盛期を支えた将軍です。対外貿易による利益を活用し、北山文化を代表する建築物である金閣を建てました。ちなみに、銀閣を建てたのは8代将軍の足利義政ですので、混同しないように注意しましょう。
問14	答え 水墨画	室町時代に雪舟によって大成された、墨の濃淡で描かれた絵画を水墨画といいます。
問15	答え 能	室町時代に観阿弥・世阿弥の父子によって大成された、仮面などを使って演じる伝統芸能を「能」といいます。
問16	答え 足利義政	足利義政は、室町時代の中ごろに活躍した8代将軍です。京都の東山に銀閣を建て、当時の文化である「東山文化」の中心となりました。ちなみに、金閣を建てたのは3代将軍の足利義満です。
問17	答え 浄土真宗（一向宗）の信者たち	一向一揆は、浄土真宗（一向宗）の信者たちが団結して起こした一揆です。
問18	答え 書院造	銀閣の東求堂に見られる、ふすまや障子、畳などを使った建築様式を書院造といい、現代の和室のもとになりました。
問19	答え びわ法師	平家物語は、びわ法師と呼ばれる人たちによって、語り伝えられました。
問20	答え 金剛力士像	東大寺南大門にある金剛力士像は、鎌倉時代の力強く生き生きとした文化を代表する有名な彫刻です。
問21	答え 「ご恩」と「奉公」の関係	将軍と御家人は、「ご恩」と「奉公」という関係で強く結びついていました。
問22	答え 東大寺	金剛力士像は、奈良県にある東大寺の南大門に置かれており、鎌倉時代の力強い文化の特徴を表しています。

問23	答え 実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動き	下剋上は、身分が下であっても実力がある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことです。
問24	答え 室町幕府において、大きな力を持つようになった有力な守護	守護大名は、室町幕府の時代に、大きな力を持つようになった有力な守護のことです。
問25	答え 勘合貿易	3代将軍の足利義満が明（中国）との間で行った貿易を「勘合貿易」といいます。

- 問1 源頼朝が国ごとに置いた役職で、御家人の取りしまりや軍事、警察などを行ったものは何ですか。
- 問2 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。
- 問3 3代将軍の足利義満が、京都の北山に建てた建物は何ですか。
- 問4 源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がたおれるまでの約140年間のことを何といいますか。
- 問5 1274年と1281年の2度にわたって、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を何といいますか。
- 問6 14世紀に、足利尊氏（あしかがたかうじ）が京都に開いた幕府を何といいますか。
- 問7 源頼朝が荘園などの私有地に置き、税の取り立てや荘園の取りしまりなどを行った役職は何ですか。
- 問8 商業が盛んになるにつれて、各地で決まった日に開かれるようになった市場を何といいますか。
- 問9 室町時代に大成された伝統芸能である「能」は、劇の中でどのようなものを用いて演じる特徴がありますか。
- 問10 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をおこなうときの基準として定められた法律ですか。
- 問11 室町時代に始まった「狂言」とは、どのような劇ですか。
- 問12 室町幕府の3代将軍である足利義満が、明（中国）との間で行って大きな利益を得た貿易を何といいますか。
- 問13 8代将軍の足利義政のときにおこった「応仁の乱」は、その後の社会にどのような影響を与えましたか。
- 問14 13世紀に中国を支配し、日本も支配しようとして攻めてきた国はどこですか。
- 問15 室町幕府において、大きな力を持つようになった有力な守護のことを何と呼びますか。
- 問16 室町幕府の8代将軍で、京都の東山に「銀閣」を建て、独自の文化を広めた人物はだれでしょう。
- 問17 一向一揆は、どのような人たちが団結して起こした一揆ですか。
- 問18 室町時代から戦国時代にかけて見られた、実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことを何といいますか。
- 問19 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。
- 問20 源頼朝の弟で、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、壇ノ浦でほろぼした人物はだれですか。
- 問21 室町時代に生まれた文化のうち、能の合間に演じられた、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇を何といいますか。
- 問22 源頼朝が鎌倉に開いた鎌倉幕府は、どのような人々による政権ですか。
- 問23 守護大名とは、どのような幕府の時代に、どのような人が大きな力を持つようになったものですか。
- 問24 源義経が率いる源氏の軍が、平氏を追いつめてほろぼした山口県にある場所はどこですか。
- 問25 鎌倉時代に、将軍の家来となった武士のことを何と呼びますか。
- 問26 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何ですか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 守護	源頼朝が国ごとに置いた、御家人の取りしまりや軍事・警察などを行う役職を守護といいます。
問2	答え 新しい仏教	鎌倉時代には、それまでの難しい仏教とは異なり、武士や農民にも理解しやすい「新しい仏教」が広まりました。
問3	答え 金閣	3代将軍の足利義満が京都の北山に建てた建物は、金閣です。
問4	答え 鎌倉時代	源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がたおれるまでの約140年間のことを鎌倉時代といいます。
問5	答え 元寇	1274年と1281年の2度にわたり、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を「元寇」と呼びます。
問6	答え 室町幕府	足利氏によって京都に開かれた政権は室町幕府と呼ばれます。源頼朝が作った鎌倉幕府や、徳川家康が作った江戸幕府とは、開かれた場所や時代が異なります。
問7	答え 地頭	源頼朝が荘園などの私有地に置いた、税の取り立てや荘園の取りしまりを行う役職を地頭といいます。
問8	答え 定期市	商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場を定期市といいます。
問9	答え 仮面	能は、顔に「仮面」をつけて演じることが大きな特徴である伝統芸能です。
問10	答え 武士の裁判	御成敗式目は、武士の裁判を正しくおこなうための基準としてつくられた法律です。
問11	答え 能の合間に演じられ、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇	狂言は、能の合間に演じられた劇で、庶民の日常の様子などをユーモラスに表現したのが特徴です。
問12	答え 勘合貿易	3代将軍の足利義満が明（中国）との間で行った貿易を「勘合貿易」といいます。
問13	答え この乱をきっかけに、戦国時代へと移り変わりました。	応仁の乱によって幕府の力が衰え、世の中は戦国時代へと移り変わっていきました。
問14	答え 元	13世紀に中国を支配したモンゴルの一部の国で、日本を支配しようと攻めてきた国は「元」です。
問15	答え 守護大名	室町幕府の時代に、大きな力を持つようになった有力な守護のことを守護大名と呼びます。
問16	答え 足利義政	足利義政は、室町時代の中ごろに活躍した8代将軍です。京都の東山に銀閣を建て、当時の文化である「東山文化」の中心となりました。ちなみに、金閣を建てたのは3代将軍の足利義満です。
問17	答え 浄土真宗（一向宗）の信者たち	一向一揆は、浄土真宗（一向宗）の信者たちが団結して起こした一揆です。
問18	答え 下剋上	実力のある者が上の身分の者に取って代わる動きや風潮を「下剋上」といいます。
問19	答え 実力のある者が、上の身分の者に取って代わる動き	下剋上は、身分が下であっても実力がある者が、上の身分の者に取って代わる動きや風潮のことです。
問20	答え 源義経	源義経は源頼朝の弟であり、源氏の軍を率いて平氏を壇ノ浦でほろぼした人物です。
問21	答え 狂言	能の合間に演じられ、庶民の生活をユーモラス（おもしろおかしく）に描いた劇を狂言といいます。
問22	答え 武士	鎌倉幕府は、源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権です。

問23	答え 室町幕府において、大きな力を持つようになった有力な守護	守護大名は、室町幕府の時代に、大きな力を持つようになった有力な守護のことです。
問24	答え 壇ノ浦	壇ノ浦は、源義経が率いる源氏の軍が平氏を追いつめてほろぼした、山口県にある場所です。
問25	答え 御家人	将軍の家来となった武士のことを御家人と呼びます。
問26	答え 金剛力士像	東大寺南大門にある金剛力士像は、鎌倉時代の力強く生き生きとした文化を代表する有名な彫刻です。
